

# 令和3年度 第2四半期（2021年7月～9月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

## 1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

## 2. 調査対象期間

今期=2021年7月～9月

- ・前年同月比=前年同期(2020年7月～9月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2021年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2021年10月～12月)の見通し

3. 調査期間 2021年9月13日～9月27日

## 4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

## 5. 調査項目ごとの状況

### (1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲45.8 で、業種別にみると「建設業」が▲19.8 で最も高く、「サービス業」が▲40.0 で続いている。

先行きは 8.3p改善の▲37.5 で、業種別では「製造業」「サービス業」で改善、「建設業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2021年 4～6月期 (前回調査)		2021年 7～9月期 (今回調査)		2021年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲34.6	↘	▲45.8	↘	▲37.5	↗
建設業	▲24.8	↘	▲19.8	↗	▲20.0	↘
製造業	▲40.0	↗	▲60.0	↘	▲40.0	↗
卸売業	▲39.6	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
小売業	0.3	↗	▲50.0	↘	▲50.0	→
サービス業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲20.0	↗
(参考)全国全産業	▲26.7	↗	▲33.2	↘	▲31.0	↗
(参考)東北全産業	▲30.1	↗	▲38.6	↘	▲40.5	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



## (2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲62.4 で、業種別にみると「サービス業」が▲39.8 で最も高く、「製造業」が▲59.8 で続いている。

先行きは 16.6p 改善の▲45.8 で、「建設業」「卸売業」「サービス業」で改善、その他の業種でほぼ横ばいとなっている。

図表2 売上高DI

	2021年 4~6月期 (前回調査)		2021年 7~9月期 (今回調査)		2021年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲43.3	↘	▲62.4	↘	▲45.8	↗
建設業	▲24.8	↘	▲79.8	↘	▲40.0	↗
製造業	▲40.0	↗	▲59.8	↘	▲60.0	↘
卸売業	▲39.6	↗	▲60.0	↘	▲40.0	↗
小売業	▲49.8	↘	▲75.0	↘	▲75.0	→
サービス業	▲59.8	→	▲39.8	↗	▲20.0	↗
(参考)全国全産業	▲18.7	↗	▲30.4	↘	▲26.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

## (3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲49.9 で、業種別にみると「サービス業」が▲19.8 で最も高く、「建設業」が▲20.0 で続いている。

先行きは 8.2p 改善の▲41.7 で、「卸売業」で改善、その他の業種でほぼ横ばいとなっている。

図表3 採算DI

	2021年 4~6月期 (前回調査)		2021年 7~9月期 (今回調査)		2021年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲43.3	↘	▲49.9	↘	▲41.7	↗
建設業	▲24.8	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
製造業	▲40.0	↗	▲59.8	↘	▲60.0	↘
卸売業	▲39.8	↘	▲80.0	↘	▲40.0	↗
小売業	▲49.8	↘	▲75.0	↘	▲75.0	→
サービス業	▲60.0	→	▲19.8	↗	▲20.0	↘
(参考)全国全産業	▲25.2	↗	▲34.4	↘	▲33.3	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲24.9で、業種別にみると「卸売業」が0.0で最も高く、「サービス業」が▲20.0で続いている。

先行きは4.2p悪化の▲29.1で、「建設業」で改善、「卸売業」「小売業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2021年 4～6月期 (前回調査)		2021年 7～9月期 (今回調査)		2021年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲13.0	↘	▲24.9	↘	▲29.1	↘
建設業	0.3	↗	▲39.8	↘	▲20.0	↗
製造業	▲20.0	→	▲39.8	↘	▲40.0	↘
卸売業	▲20.0	↘	0.0	↗	▲20.0	↘
小売業	0.0	↘	▲24.8	↘	▲49.8	↘
サービス業	▲20.0	→	▲20.0	→	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲17.8	↗	▲21.7	↘	▲22.7	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲41.7で、業種別にみると「製造業」が0.0で最も高く、「建設業」「サービス業」が▲40.0で続いている。

先行きは12.5p悪化の▲54.2で、「建設業」「製造業」「サービス業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2021年 4～6月期 (前回調査)		2021年 7～9月期 (今回調査)		2021年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲34.8	↘	▲41.7	↘	▲54.2	↘
建設業	▲25.0	↗	▲40.0	↘	▲60.0	↘
製造業	0.0	→	0.0	→	▲20.0	↘
卸売業	▲80.0	↘	▲80.0	→	▲80.0	→
小売業	▲25.0	→	▲50.0	↘	▲50.0	→
サービス業	▲40.0	→	▲40.0	→	▲60.0	↘
(参考)全国全産業	▲38.0	↘	▲44.1	↘	▲42.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

## (6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は▲8.1 で、業種別にみると「建設業」「小売業」「サービス業」でやや不足となっている。

先行きは 4.2p 改善の▲3.9 で、「製造業」「卸売業」で改善、その他の業種でほぼ横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2021年 4～6月期 (前回調査)		2021年 7～9月期 (今回調査)		2021年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	→	▲8.1	↘	▲3.9	↗
建設業	0.5	↗	0.4	↘	0.2	↘
製造業	0.0	→	▲20.0	↘	0.0	↗
卸売業	0.0	↘	▲20.0	↘	▲19.8	↗
小売業	0.0	→	0.3	↗	0.3	→
サービス業	0.6	↗	0.6	→	0.6	→
(参考)全国全産業	9.1	↗	10.1	↗	12.5	↗

※(参考)は日本商工会議所L O B O調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

## 6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
技術者不足で新しい工事が受注できない。高校生、大学生の新卒の応募がない状況である。木材価格の高騰、仕入れが難しく、民間住宅工事の価格、工期に影響している。	建設業
市内で行われる各種イベントについて、感染対策をしっかりと講じて、安易に中止・延期せず開催する方向で取り組んでほしい。	卸売業
半導体不足により生産減。	小売業
コロナの影響があり、従業員の確保ができない。	サービス業
人手不足のため、売上高維持が大変。	サービス業
まだまだ厳しいのは変わっていないが、ワクチン接種が進み、人の流れが出ることを期待している。	サービス業